

三番瀬カレンダー制作

【申請金額：208,491円 支援率：50%】

記入日：平成26年3月28日

■どのような活動をしている団体ですか？

船橋市の前に広がる三番瀬は広範囲に埋め立てられましたが、残っている干潟、浅海域では今も多く生物が生まれ育ち、漁業も脈々と続けられています。渡り鳥の飛来地としても全国的に知られています。

この三番瀬の自然の姿や漁業、伝統行事などの写真をカレンダーという見やすい形に編集し、小学校、公民館などに寄贈しています。また書店や地域のお店で販売もしていただいています。

三番瀬の自然環境が私達にとってかけがえない貴重な財産である事を、より多くの方に感じて頂きたいと願い活動しています。



25年9月 市役所1階ロビー 「三番瀬写真展」

■事業提案型支援金をどのように活用されましたか？

25年度も支援金をカレンダー編集・印刷費用の一部にあて、船橋市立小学校全学級や児童館、公民館等に2014年カレンダー「2014三番瀬で会いましょう」を寄贈する事ができました。（見開きA3判、月ごとにA4写真とカレンダーと組み合わせ構成したもの。）

また、これまでに制作してきたカレンダーの拡大版ポスターを市役所（写真）や船橋本町通りなどで展示しました。できるだけ広く、市民の皆さまに三番瀬の自然、漁業、三番瀬に関わる地元の歴史・行事などについての様々な情報をお伝えしたく、このための費用としても活用させていただきました。



三番瀬カレンダー
「2014三番瀬で会いましょう」

■2年目となる事業提案型支援金を活用して事業を実施することで、どのような成果がありましたか？

船橋市民にとって「ふなばし三番瀬海浜公園」は身近な存在ですが、その公園の前に広がる海が三番瀬である事、そこで海苔養殖や魚貝漁が盛んに行われている事などを「知らなかった」という方がまだまだいらっしゃいます。多くの方が三番瀬カレンダーや展示された拡大ポスターを見て、「船橋に三番瀬という優れた自然環境がある」ことに驚かれます。一方、昔の三番瀬の広大な干潟を知っている方は「三番瀬の自然がまだ残っている」ことを喜び、「大切にしなければ」と語られます。また、小学校では三番瀬を知るための教材として活用されている所もあります。

市民の日常生活に近いところに三番瀬という自然環境が存在していること、それが貴重な市民の財産であることを、カレンダーの写真を通じて伝える事ができているのではないかと思います。

■今後の活動の抱負について

来年度は2015年三番瀬カレンダーを制作します。小学校を中心とした寄贈、拡大版の展示などを続ける事によって、三番瀬の自然や漁業、三番瀬に関わる町の歴史や行事などをたくさんの方々に見ていただき「三番瀬は私達の大切な財産である」と考える市民が増えていくことを願って活動します。また、これらの費用とするため、カレンダーの有料頒布などもより広く行いたいと思います。

■問い合わせ先：代表 田原 悦子（たはら えつこ）

TEL：090-2457-7102

E-mail:et-higashihunabashi@mild.ocn.ne.jp